

全ト協発第668号(経)

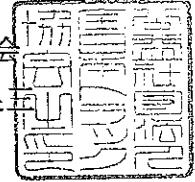
平成28年3月31日

都道府県トラック協会

会長 殿

公益社団法人全日本トラック協会

会長 星野 良



平成28年度インターンシップ導入促進支援事業助成金交付要綱の送付と
受入事業者募集サイトの設置について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の事業運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では若年労働者確保対策の一環として、平成28年度に「インターンシップ導入促進支援事業」を実施し、当協会ホームページに設置したインターンシップ受入事業者募集サイトを通じて、高等学校以上の教育機関より、3日間以上のインターンシップを受け入れた中小事業者の皆様に助成金を交付させていただきます。

つきましては、本事業に係る交付要綱等を別添のとおり送付致しますので、会員事業者の皆様へご周知いただきますとともに、積極的な本募集サイトへの登録についてご周知願います。

なお、本募集サイトにつきましては、一定数の事業者の方が登録された段階で、全国の高等学校で組織される団体等を通じて就職活動の際に活用していただくよう周知していくことを申し添えます。

敬具

【送付内容】

- ・インターンシップ導入促進支援事業助成金交付要綱実施要領
- ・インターンシップ導入促進支援事業助成金交付要綱
- ・インターンシップ導入促進支援事業実績報告書(様式1)(事業者→都道府県ト協)
- ・インターンシップ受入れ実施結果報告書(様式1の2)(同上)
- ・インターンシップ導入促進支援事業実績報告書(様式2)(都道府県ト協→全ト協)
- ・インターンシップ導入促進支援事業実績報告書内訳(様式2の2)(同上)

※インターンシップ受入事業者登録サイト掲載場所

全ト協ホームページTOP画面バナー「インターンシップ受入事業者」

または、<http://www.jta-r.jp/internship.html> をご覧下さい。

◇本件問合せ先：経営改善事業部 板倉、飯塚、加藤

TEL：03-3354-1056

平成28年度 インターンシップ導入促進支援事業助成金交付要綱 実施要領

(公社)全日本トラック協会

1. 助成金交付の趣旨

少子高齢化に対応し、学生による職場体験（「インターンシップ」）の受入れを実施する都道府県トラック協会（以下「地方ト協」という。）会員事業者（以下「事業者」という。）に助成金を交付し、もって業界における人材確保対策の促進を図る。

2. 助成対象者

地方ト協事業者は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条第1項第1号に掲げる中小企業者（資本金3億円以下又は従業員数300人以下）であるものとする。

3. 予算額

4,200万円（予算達成次第終了）

4. 助成対象事業等

会員事業者が、全ト協の開設したインターンシップ登録サイトに必要事項を登録した後、高等学校以上の教育機関からインターンシップを受入れた場合に次の要件に適合するものにあつては、その受入れに対して助成する。

ただし、地方ト協ごとの1事業者あたりの申請は1回に限る。

(1) インターンシップ受入れ期間が3日間以上であること。

(2) インターンシッププログラムに次のものを含むものであること。

①点呼や日常点検等安全運行に向けた取組みの見学等。

②乗務体験（学校側からの要請で乗務体験を含まない場合を除く。）

5. 助成額

(1) インターンシップ受入れ期間 3日間 9万円

(2) インターンシップ受入れ期間 4日間 11万円

(3) インターンシップ受入れ期間 5日間以上 13万円

※但し、上記受入れ期間は同一学生に対する受入れ期間とし、受入れ人数にかかわらず上記の助成額とする。

6. 事業の申請

事業者は、本助成金の交付を受けようとするときは、期日までに「インターンシップ導入促進支援事業実績報告書」を地方ト協に提出しなければならない。

7. 実施期間等

(1) 助成対象事業実施期間 平成28年4月1日～平成29年2月28日

(2) 地方ト協への実績報告書到着締切日 平成29年3月3日

(3) 全ト協への実績報告書到着締切日 平成29年3月10日

8. 交付要綱

「インターンシップ導入促進支援事業助成金交付要綱」のとおり

以上

インターンシップ導入促進支援事業助成金交付要綱

平成28年3月31日制定
公益社団法人 全日本トラック協会

(事業の趣旨)

第1条 この要綱は、全日本トラック協会（以下「全ト協」という。）が、少子高齢化に対応し、学生による職場体験（以下「インターンシップ」という。）の受入れを実施する都道府県トラック協会（以下「地方ト協」という。）会員事業者（以下「事業者」という。）に助成金を交付し、もって業界における人材確保対策の促進を図ることを目的とする。

(助成対象者)

第2条 地方ト協事業者は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条第1項第1号に掲げる中小企業者（資本金3億円以下又は従業員数300人以下）であるものとする。

(助成対象事業等)

第3条 助成金の交付対象となる事業は、地方ト協事業者が全ト協の開設したインターンシップ登録サイトに必要事項を登録した後、高等学校以上の教育機関からインターンシップを受入れた場合に次の要件に適合するものにあつては、その受入れに対して助成する。ただし、地方ト協ごとの1事業者あたりの申請は1回に限る。

(1) インターンシップ受入れ期間が3日間以上であること。

(2) インターンシッププログラムに次のものを含むものであること。

① 点呼や日常点検等安全運行に向けた取組みの見学等

② 乗務体験（学校側からの要請で乗務体験を含まない場合を除く。）

(助成金の交付予算額)

第4条 助成金の交付予算額は、42,000,000円とする。

(助成金額)

第5条 交付する助成金は、受入れ人数にかかわらず以下の通りとする。但し、受入れ期間は同一学生に対する受入れ期間とする。

(1) インターンシップ受入れ期間 3日間 9万円

(2) インターンシップ受入れ期間 4日間 11万円

(3) インターンシップ受入れ期間 5日間以上 13万円

(協調助成)

第6条 地方ト協における協調助成の有無は、任意とする。

(助成金の交付請求)

第7条 事業者は、本助成金の交付を受けようとするときは、第10条第2項に定める期日までに「インターンシップ受入れ実施結果報告書」(様式1の2)を添付して、「インターンシップ導入促進支援事業実績報告書(助成金交付請求書)」(様式1)を地方ト協に提出しなければならない。

- 2 地方ト協は、事業者から前項の申請書の提出があった場合には、第10条第3項に定める期日までに「インターンシップ導入促進支援事業実績報告書(助成金交付請求書)」(様式2)を全ト協に提出しなければならない。

(助成金の交付)

第8条 全ト協は、前条に基づき助成金の交付申請があったときは、速やかに審査し、第2条並びに第3条に適合すると認めるときは、地方ト協に対して助成金を交付する。

- 2 地方ト協は、全ト協から交付された助成金を事業者に交付する。
- 3 なお、第4条に定める予算額が満額に達した場合には、助成金の交付を終了する。

(助成金の返還)

第9条 全ト協は、事業者が虚偽または不正の行為により本助成金を受けたと認められる場合、支給した本助成金の全部を返還させるものとする。

(事業期間等)

第10条 助成対象事業は、平成28年4月1日～平成29年2月28日までに実施した事業とする。

- 2 事業者は第7条第1項にて定める「インターンシップ導入促進支援事業実績報告書(助成金交付請求書)」(様式1)を平成29年3月3日までに地方ト協へ提出するものとする。
- 3 地方ト協は、第7条第2項で定める「インターンシップ導入促進支援事業実績報告書(助成金交付請求書)」(様式2)を平成29年3月10日までに全ト協へ提出するものとする。
- 4 全ト協は、第8条第1項の助成金の交付を平成29年3月31日までに行うものとする。

(報告の義務等)

第11条 当該事業の実施に関し、全ト協が必要と認めた場合には地方ト協に対し報告等を求めることができる。

(その他)

第12条 この要綱に定めのあるもののほか、その運用に関して必要がある場合には全ト協が別にこれを定める。

(附則)

第1条 本要綱は、平成28年4月1日より適用する。

(様式1) (第7条関係)

平成 年 月 日

会長 トラック協会 殿

申請者
代表者 ⑩
法人番号 _____

インターンシップ導入促進支援事業実績報告書 (助成金交付請求書)

インターンシップ導入促進支援事業助成金交付要綱第7条第1項の規定に基づき、下記のとおり助成金を請求します。

記

1. 助成金交付請求額

金 _____ 円 (_____ 日間)

2. 振込先銀行口座

銀行名	:	銀行・信用金庫
支店名	:	
預金	:	普通預金 ・ 当座預金
口座番号	:	
口座名義	:	

3. 添付書類

インターンシップ受入れ実施結果報告書

①申請者→②都道府県トラック協会

(様式1の2)

インターンシップ受入れ実施結果報告書

(1) 会社の概要

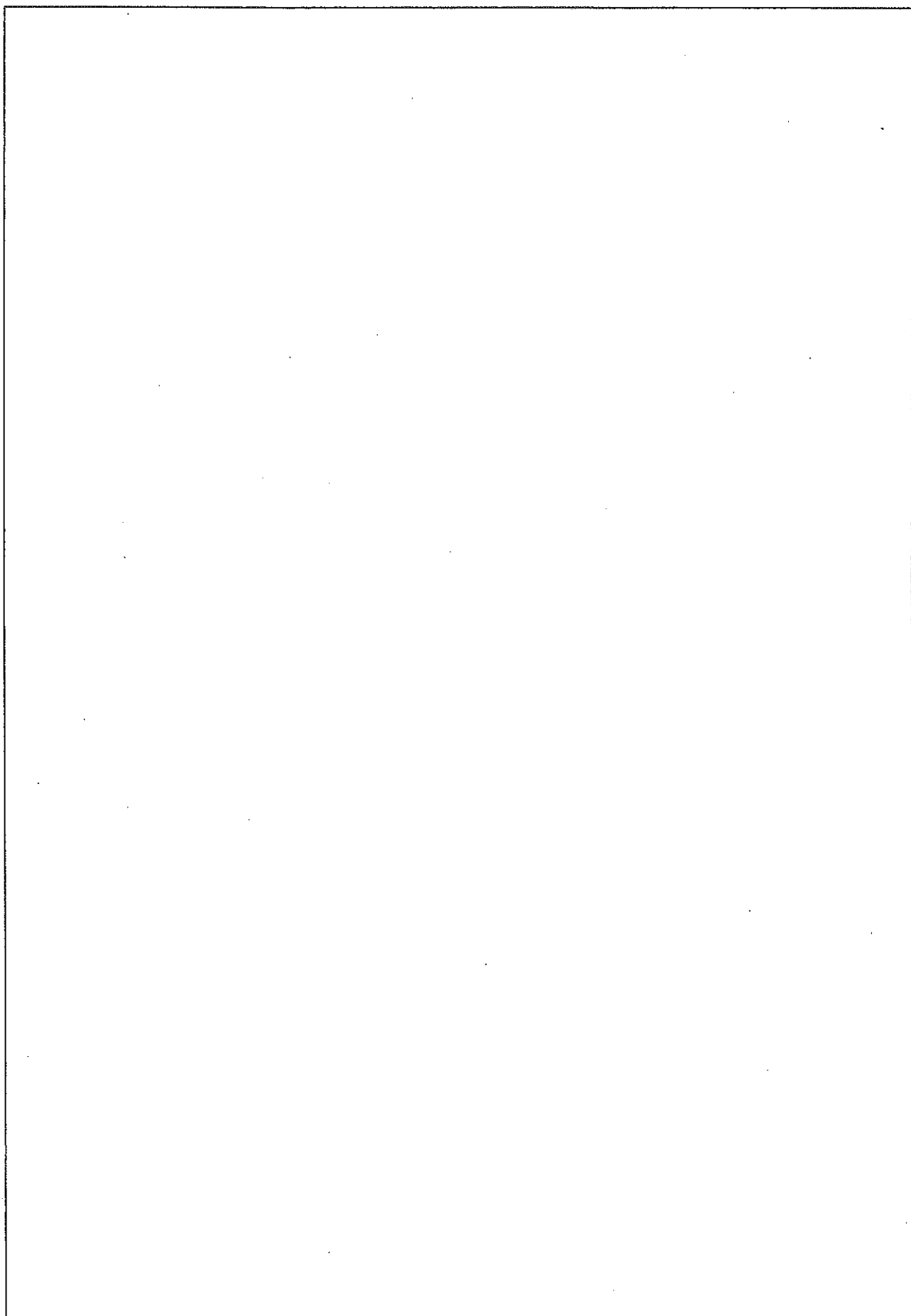
項目	記入欄
名称	
所在地	
連絡先	
連絡担当者氏名	

(2) 研修プログラム内容

受入れ責任者： _____

月 日 ()			
時間	内容	場所	指導担当者
月 日 ()			
時間	内容	場所	指導担当者
月 日 ()			
時間	内容	場所	指導担当者

(3) 受入れ状況 (写真添付)



(4) 高等学校等の教育機関からのインターンシップ受入依頼文書などの
受入状況が分かる書類（写し添付）

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page below the text. It is intended for the applicant to paste in copies of documents related to their internship acceptance, as specified in the text above.

(4) 高等学校等の教育機関からのインターンシップ受入依頼文書などの
受入状況が分かる書類（写し添付）

〇〇〇〇第 号
平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇〇〇 殿

〇〇〇〇〇〇高等学校
校長 〇〇 〇〇

平成〇〇年度〇〇〇〇のインターンシップの受入れについて（依頼）

時下、貴事業所におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から、本校教育に対しまして、ご理解、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、〇〇では、望ましい勤労観・職業観を醸成し、進路選択を自ら行うことを目的として、下記のとおりインターンシップを実施いたします。このインターンシップでは、直接企業の方々からご指導を受けることにより、社会の厳しさ、働くことの大切さなどを体得し、今後の〇〇生活、また、将来への展望の糧となる重要な教育の場となっております。

つきましては、本趣旨をご理解いただき、生徒実習の受入のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 期 日 平成〇年〇月〇日（〇）～ 〇月〇日（〇）の 〇日間
- 2 就業時間 〇時〇〇分～〇〇時まで
- 3 対象生徒 〇年生〇〇〇人
- 4 その他